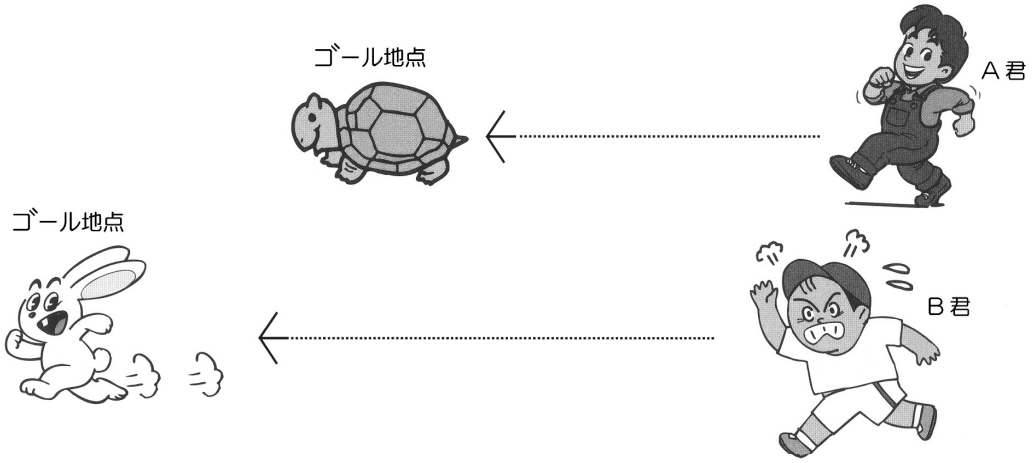
第一部：子どもの権利条約と洗脳教育

1　欠陥教育の証明

新たな速度基準の考え方

Ａ君とＢ君の走る速度の比較を考えておこう。Ａ君に対しては歩いている亀を運動の指標（ゴール）と定め、Ｂ君に対しては走っている兎を運動の指標と定めた場合、両君の速度の比較に意味があるか、否かである。勿論、両君の各運動の指標に対する速度は求められよう。しかし、その比較に全く意味はない。何故なら、両君に対して亀と兎という別々の運動の指標が設定されている為、速度を比較する際の共通性がなく不平等であるからである。そこで、共通性の保証を得る方法として運動の指標を亀か兎の何れか一つに限定する。この方法は速度を比較する為のものであり、【速度比較の原理】と呼び、一つに限定された運動の指標を【速度基準】と呼ぶことにする。



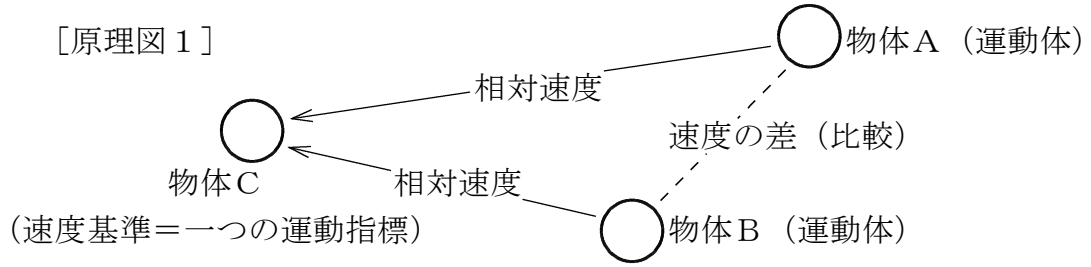
◇速度の比較は我々の生存・生活の必然性

競輪や競馬、オリンピック等で各種の競争が成り立っているのも速度基準が設定されているからである。そして、通勤・通学、待ち合わせ時間、列車のダイヤ等々は移動速度の違い（速度の比較）で決まってくる。又、人間はその昔、獲物を捕らえる際、石や槍などを投げて逃げる獲物の速度に対処してきたが、この場合も速度の比較を行っているのである。ここで重要なのは、飛ぶ鳥、船、歩く人、列車、微風や強風など全ての速度は違っているが、それら違いを知る（速度の比較を行っている）為の速度基準は一体何なのか、である。実は、地面（地球）を時々刻々の速度基準とし、それら全ての速度の違いを導いているのである。勿論、速度の比較は何時でも何処でも如何なる方向でも、また誰にでも出来るものであり、日常生活を支える基本的事項の一つである。この基本事項の存在は、列車の時刻表が成り立っていることにおいて一目瞭然である。すなわち、相対速度の概念だけで列車の時刻表は組めない為、従来の学問が間違っているという結論に導かれる。

◇速度基準（速度比較の原理）の原理図

駆けっこ等で速度を比較する際、運動の指標（ゴール）を一つに限定していることは子供達でも周知の経験事実である。ところが、この経験事実、すなわち限定条件が言葉で表現されていなかったのである。言葉になっていなければ、学問になっていないのは明らかである。このことは既に、教科書、辞書や百科事典、学術書や科学雑誌などに、かかる限定条件の記述がないことで証明されている。

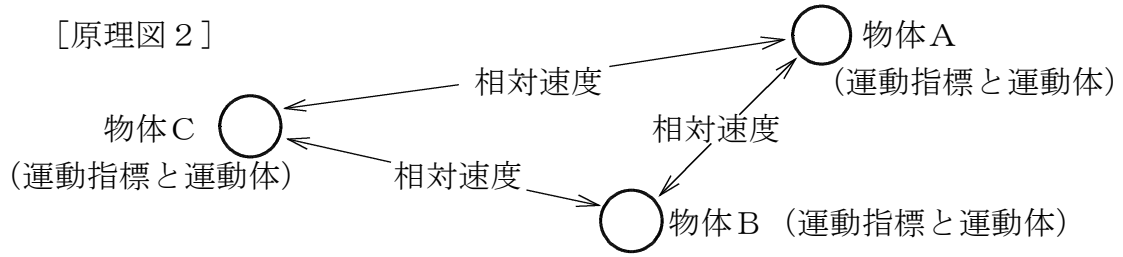
上の事実関係により、新たな原理の発見として「速度比較の原理」が提唱されている。そこで、速度比較の原理図１を描いておこう。勿論、速度（運動）の相対性については従来の学問と何ら変わらない。更に、複数の速度が記述されなければ比較はできない為、速度比較の理論では三つ以上無数の物体が必要となる。原理的には三つの物体を採用しておけば十分である。



従来の教育の速度比較に関する考え方

◇従来の速度理論の原理図

従来の速度比較の理論は運動の相対性のみで構築されている。従って、下の原理図２となる。ここで注意すべきは「全ての物体が互いに然も同時に運動体と運動指標に成っている！」ことである。但し、これは必然の結果である。



世界共通かつ日常生活上の常識に反する従来の非常識な教育

以上の考察および事実の通り、速度の比較は我々の生存・生活の規範となっているのである（世界共通の概念・認識）。よって、如何なる学術的論法を持ち出そうとも否定は不可能である。しかし、この間違った従来の教育を、権威・権力者達は不法な権力行使によって続行しているのである。

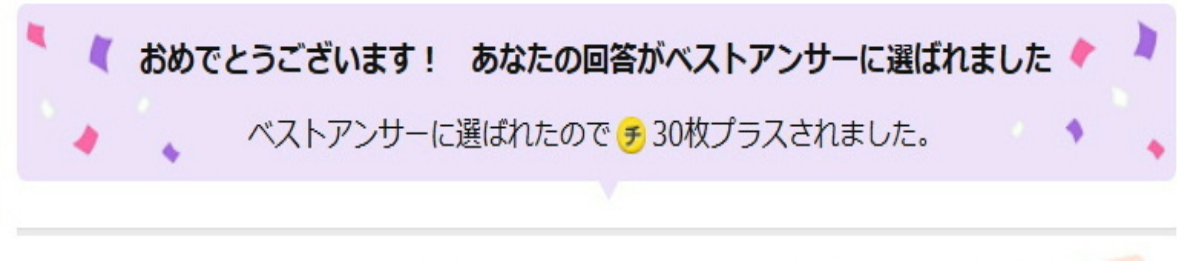
参考

◇日本語版ウィキペディア：競走
> この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です…
https://ja.wikipedia.org/wiki/競走

◇英語版ウィキペディア：Talk:Physics
> **Physics was one of the good articles, but it has been removed from the**
> **list. …This page was last edited on** 23 **November** 2018.
邦訳：
・物理学は良い記事の１つでしたが、リストから削除されました。…
https://en.wikipedia.org/wiki/Talk:Physics

◇英語版ウィキペディア：Talk:Mathematics
> ….
> **Mathematics was one of the Mathematics good articles, but it has been**
> **removed from the list. … This page was last edited on** 16 **December** 2018.
邦訳：
・…。
・数学は数学の優れた記事の１つですが、リストから削除されました。…
https://en.wikipedia.org/wiki/Talk:Mathematics

◇**Yahoo!知恵袋**の件名「アインシュタインはローレンツ収縮の根本的な…」
https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q13170283138
を必見。そこには、今までに見たことも無かった特別な表記（壁紙と注釈）が張り付けられていた。なお、このリンク先の更なるリンク先の内容まで見よ。



＊上の壁紙は数日で消える為に採録しておいた

◇戦略/ウィキメディア運動/2017年/方向性
https://meta.wikimedia.org/wiki/Strategy/Wikimedia_movement/2017/Direction/ja
> 戦略の方向性は戦略の計画ではありません。一方で計画とは通常ある特定の3−5
> 年間に限り実行と測定が可能で、組織の能力とリソースに制限されます。

＞ 他方、戦略の方向性はより広範であり、戦略計画をより長期的に導くものです。
＞ 2030年の地平線に焦点を合わせると、私たちが個人として得ようとする短い期間
＞ の役割や関心の先にある、私たちすべてが抱く願望に集中することができます。
＞ 現在、プロセスの進行状況は以下のとおりです。
＞ ・2017年1月－7月: コミュニティの協議、調査と分析
＞ ・2017年8月初旬: 起草委員会が主導した討論と調査から草稿の方向性（以下ご
＞　参照）が浮上
＞ ・2017年8月と9月: ウィキメディア運動を構成員は文章を熟考し、快適に支持す
＞　るために必要な改善点を協議し共有します。
＞ ・10月1日: 戦略の方向性のまとめ終了。
＞ ・10月26日: 締結日: 関係者（提携団体とウィキメディア財団を含む）は署名を
＞　追加、方向性の支持と貢献を表明しました。
＞ ・2017年11月: 戦略的方向性の実施方法の議論を開始。自分たちが求める運動、
＞ 関係者それぞれの構成や能力、これから開発する必要がある部分と、どんな役割
＞ に関心があり実現しようとしているか、具体的にイメージを描きます。
＞ ・➡ 2018年－2020年: 運動の関連団体はそれぞれが選んだ役割にしたがい、独自
＞ の戦略計画を立てます。これには必要な資源を確保する方法と、今後3年から5年
＞ の間に行う活動の検討が含まれます。
＞ …（中略）…
＞ 知識の公義: 社会運動として、知識とならび、権力と特権の構造によって除外さ
＞ れた共同体に努力を集中します。あらゆる分野の人を歓迎し、強靭で多様なコミ
＞ ュニティを築きます。フリーな知識を人々が入手し貢献する妨げになる、社会や
＞ 政治および技術の壁を打破します。
＞ …。

◇Googleで「速度比較の原理」を検索せよ。

◇Googleで「Ｍ＆Ｎ数論」を検索せよ。

目次へ戻る　　２ 教育界の弾圧へ